

Ⅲ 幼稚園教諭

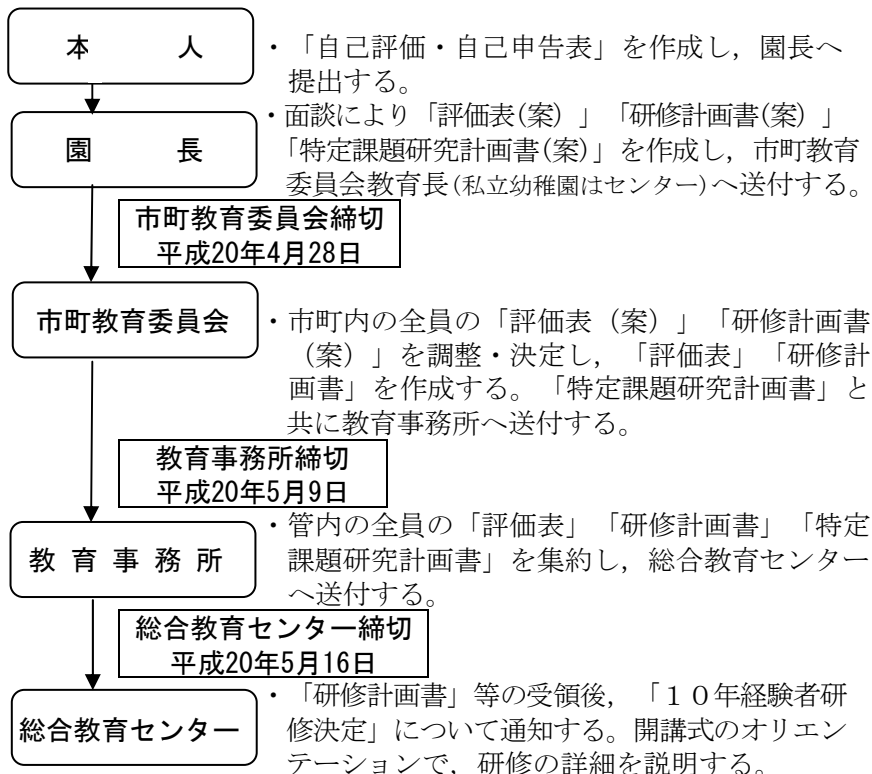
1 受講前の提出書類 (終了後の提出書類：17ページ以降参照)

- ・かがみ 様式※
- ・評価表(案) 様式1
- ・園外研修計画書(案) 様式2
- ・園内研修計画書(案) 様式3
- ・特定課題研究計画書(案) 様式4

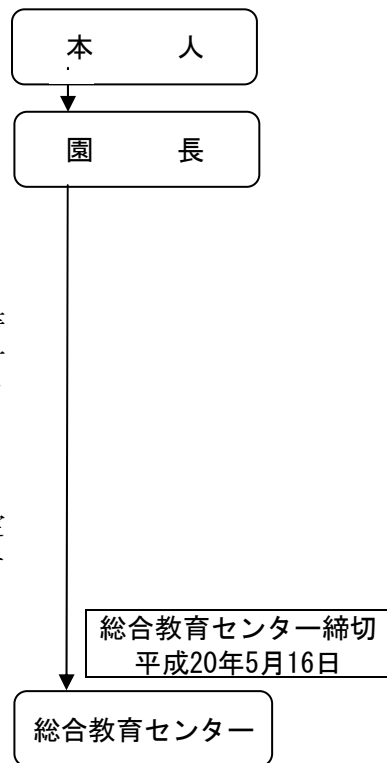
これらの様式は、愛知県総合教育センターのホームページからダウンロードできます。

2 提出先と期限

<公立幼稚園教諭>



<私立幼稚園教諭>



様式※ かがみの書式例

〇〇〇教育委員会教育長殿

園名
園長名

平成20年度10年経験者研修「評価表(案)」、「研修計画書(案)」及び「特定課題研究計画書(案)」について

このことについて、下記のとおり提出します。

記

研修者 職・氏名	提出様式 (部数, 合計枚数)
教諭 〇〇〇〇	様式1, 2, 3, 4 (各1部, 計4枚)

文書番号
平成20年〇月〇日

【注意】

職印

印

3 評価表（案）の作成

研修者に自らの課題や適性，得意分野等を再認識させ，研修意欲を喚起すると共に，研修内容がより研修者にとって適切なものとなるよう評価を行う。

園長は，次のことに留意して様式1「評価表（案）」を作成する。

- ①研修者に「自己評価・自己申告表」（モデル案）を示し，P9に示す「評価項目」に基づいて自己評価をさせる。
- ②研修者の保育指導等の状況を計画的に観察し，主任（主査教諭）の協力を得つつ状況をつかむ。
- ③「自己評価・自己申告表」（モデル案）を基に，研修者と面接を行う。

(1) 評価表（案）の作成にあたって

ア 「1 評価」について

P9に示す評価項目について，次の評価基準に基づき，評価を記入する。

評 価 基 準	評 価
在職期間が10年を経過した教諭に求められる程度以上に，優れている。	4
在職期間が10年を経過した教諭に求められる一般的な程度を十分に満たしている。	3
在職期間が10年を経過した教諭に求められる最低限の程度を満たしている。	2
在職期間が10年を経過した教諭に求められる最低限の程度を満たしていない。	1

イ 「2 得意分野として今後伸ばしたいと思う領域や分掌等とその概要」について

「10年経験者研修」の趣旨である「能力，適性等に応じた指導力の向上と得意分野づくり」を踏まえ，これまで努力した点や園内研修における「特定課題研究」で，さらに充実，深化させたい研究につながる事項を記述する。

ウ 「3 園長所見」について

園長は，研修者の自己評価等に基づき面接を行い，評価表（案）を記入したあと，所見を文章で記述する。

(モデル案)					
平成20年度10年経験者研修「自己評価・自己申告表」					
	研修者 職・氏名				
1 評価					
1 幼児の指導に関する評価	(1) 計 画	(2) 環境の設定	(3) 保育の方法・展開		
2 学級経営その他に関する評価	(1) 学級経営	(2) 保護者への対応	(3) 地域との関係	(4) 園 務	(5) 向上心
2 得意分野として今後伸ばしたいと思う領域や分掌等とその概要					

様式1 (幼稚園 教諭用)

平成20年度10年経験者研修評価表 (案)

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 幼児の指導に関する評価	(1) 計 画	(2) 環境の設定	(3) 保育の方法・展開		
2 学級経営その他に関する評価	(1) 学級経営	(2) 保護者への対応	(3) 地域との関係	(4) 園 務	(5) 向 上 心

2 得意分野として今後伸ばしたいと思う領域や分掌等とその概要

3 園長所見

園 名

園長名



【注意】私印

(2) 幼稚園教諭の「評価項目」

1 幼児の指導に関する評価項目

(1) 計 画

- ア 園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を構造的に作成している。
- イ 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。
- ウ 日々の保育の記録をとり、自ら検討すると共に、教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。
- エ ティーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。

(2) 環境の設定

- ア 幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。
- イ 他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている。
- ウ 季節、1日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している。
- エ 幼児の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成できる。

(3) 保育の方法・展開

- ア 個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。
- イ 温かい態度で受けとめることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している。
- ウ 個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。
- エ 幼児と共に活動することを心から楽しむことができる。
- オ 幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。
- カ 活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを適切な言葉と行動で示している。
- キ 個々に応じた適切な援助を行っている。

2 学級経営その他に関する評価項目

(1) 学級経営

- ア 個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士も互いを大切にする学級になっている。
- イ 施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。

(2) 保護者への対応

- ア 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について、入園前や家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている。
- イ 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすと共に、子育ての相談相手となっている。
- ウ 事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。

(3) 地域との関係

- ア 機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力をしている。
- イ 地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。
- ウ 地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識をもっている。

(4) 園 務

- ア 園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。

- イ 園の運営について、自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をしている。
- ウ 必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談を行っている。

(5) 向上心

- ア 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。
- イ 園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し、資質向上に努めている。
- ウ 自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている。

4 園外研修計画書（案）・園内研修計画書（案）・特定課題研究計画書（案）の作成

(1) 園外研修計画書（案）・園内研修計画書（案）・特定課題研究計画書（案）の作成にあたって

10年経験者研修の趣旨を生かし、研修者の資質向上に資することを目的に、園外研修・園内研修・特定課題研究の計画を立てる。

ア 研修者は、園長・主任（主査教諭）等の助言を得ながら、園外研修計画書（案）・園内研修計画書（案）・特定課題研究計画書（案）の三つの計画書（案）を作成する。作成にあたり、研修が園内行事等により妨げられないよう計画する。

イ 園長は、三つの計画書（案）を評価表（案）と共に公立幼稚園においては市町教育委員会、私立幼稚園においては総合教育センターへ提出する。

(2) 園外研修計画書（案）の作成にあたって

園外研修は、総合教育センターにおける研修が5日間、センター外における研修が3日間、合わせて8日間の研修である。幼稚園教諭はP12の様式2「平成20年度10年経験者研修園外研修計画書（案）」に従い、以下の説明を参考に作成する。

ア 総合教育センターにおける研修計画（5日間）

研 修 名	開 催 日	内 容
共 通 研 修	6月 6日（金）	開講式 講義「教職員の服務について」「社会体験型研修」 研究協議「10年経験者研修のテーマについて」
保 育 専 門 研 修 I	7月 29日（火）	「カウンセリングマインドを生かした幼児とのかかわり」 「命を感じる教育」「幼稚園と小学校の連携の在り方」
	8月 5日（火）	「幼稚園教育の現状と課題」「幼稚園教員の専門性」 「幼児理解と環境構成」「幼児の内面理解」
	8月 18日（月）	「障害のある幼児の理解」 「保護者とのかかわり・子育て支援」 「保護者対応の実際」
保 育 専 門 研 修 II	1月 30日（金）	講義「環境教育について」「環境教育実践発表」 研究発表「特定課題研究の発表」 閉講式

- ・保育専門研修は、事前に課題や討議資料の提出などが課せられる。内容、提出期限、様式、提出部数については、別途通知する。

イ 総合教育センター以外における研修(3日間)

(7) 社会体験研修(1日間)

豊かな社会性や望ましい人間関係能力を育成するために、10年経験者研修の一環として、社会福祉施設、各種企業等において社会体験研修を行い、教員としての幅広い資質向上に資することを目的として実施する。

- ・研修時期 長期休業中の1日間
- ・研修先 社会福祉施設、社会教育施設、企業、その他
- ・研修内容 福祉、環境、生涯学習、ボランティア、企業勤務等社会体験活動
- ・決定方法 研修者自身が研修先を探し、園長と相談の上決定し、園長が受け入れ先に依頼する(下の依頼文例参照)。
- ・留意事項 危険を伴わない研修先を探すこと。
通常の勤務時間に見合った活動時間とすること。

(依頼文例)

文 書 番 号
平成20年〇月〇日

(受け入れ施設) 長殿

〇〇市立〇〇幼稚園長 〇〇〇〇 印

社会体験研修の受け入れについて(依頼)

〇〇の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、平成20年度幼稚園10年経験者研修の一環として社会体験研修を実施いたします。この研修は、園外の研修を通して知見を広めると共に、社会の構成員としての視野の拡大と自覚の高揚を図り、教員の資質向上を目指して行うものです。

つきましては、下記のとおり貴施設(貴社)で研修させていただきたく存じます。研修の趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時
平成20年〇月〇日() 午前〇時〇分から午後〇時〇分まで
- 2 活動場所
〇〇市△△センター
- 3 研修希望者
(所属園名) 〇〇〇〇幼稚園 (職名) 教諭 (氏名) 〇〇〇〇
- 4 研修内容
社会体験にかかわる研修

(4) 異校種体験研修(2日間)

異校種の授業やそこで活動する児童生徒の様子を参観することにより、教育を幅広い視点から見つめたり、自らの置かれている状況をとらえたりする機会とし、教職を10年経験したそれぞれの教員の教育活動を充実させると共に、幼稚園の活性化を図ることを目的として実施する。

- ・研修時期 各教育事務所・県立学校の指定した日
- ・研修先 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のうちの2校種
- ・決定方法 希望する2校種を選ぶ。
- ・研修内容 授業参観と講義、研究協議
- ・公開保育 異校種体験研修会場園となった場合、原則として、会場園に在籍する研修者が公開保育を行う。
- ・講師 研修園の園長、主任(主査教諭)、又はそれに準ずる教諭
- ・その他 公開保育を行った研修者は、異校種での研修ではないが、その日を2日間の研修の1日とすることができる。

様式2 (幼稚園 教諭用)

平成20年度10年経験者研修園外研修計画書(案)

園名		職		氏名	
----	--	---	--	----	--

1 総合教育センターにおける研修計画

	開催月日	研修名	研修内容等
1	6月6日(金)	共通研修	開講式, 講義と研究協議
2	7月29日(火)	保育専門研修Ⅰ	「カウンセリングマインドを生かした幼児とのかかわり」 「命を感じる教育」 「幼稚園と小学校の連携の在り方」
3	8月5日(火)		「幼稚園教育の現状と課題」 「幼稚園教員の専門性」 「幼児理解と環境構成」「幼児の内面理解」
4	8月18日(月)		「障害のある幼児の理解」 「保護者とのかかわり・子育て支援」 「保護者対応の実際」
5	1月30日(金)	保育専門研修Ⅱ	講義と研究発表, 閉講式
総合教育センターにおける園外研修			合計 5日間

2 総合教育センター以外における研修計画

(1) 社会体験研修 (1日間)

希望予定先名(○数字)を一つ記入する

希望予定先	①社会福祉 ②社会教育 ③企業 ④その他()	
研修希望月 実施予定内容	()月の予定	

(2) 異校種体験研修 (2日間)

希望校種(○数字)を二つ記入する

希望校種	① 幼稚園 ②小学校 ③中学校 ④高等学校 ⑤特別支援学校	
------	---	--

総合教育センター以外における園外研修 合計 3日間

(3) 園内研修計画書(案)の作成にあたって

園内研修は、園内で行う研修である。研修テーマや研修内容は、保育実践を通じた保育研究や教材研究、特定課題研究のほか、研修者の能力、適性等に対応し、園内研修の項目例(P14)等から選択し、研修する。

計画書の作成にあたっては、次のことに留意する。

- ア 日数は、能力、適性等に応じて7日から10日の間とする。
- イ 総合教育センター等で実施される園外研修の内容と重複しないように配慮する。
- ウ 園内だからこそできる、園の実態にあった研修とする。
- エ 指導・助言は園長を中心に、園内の主任（主査教諭）、ベテラン教員をはじめ地域の学識経験者等の積極的な活用を図る。
- オ 教育委員会等の実施する公的な研究発表会等へ参加したり、研究発表をする機会を計画して実施したりすることも考えられる。
- カ 職務上の命令による研修であるので、週休日や休日、勤務時間外の研修は、認められない。ただし、勤務の割り振りで措置できると認められる研修については、この限りではない。
- キ 園内研修計画書(案)を園内研修計画モデル案を参考に、様式3により作成する。「研修内容」については、次ページに示す「園内研修の項目例」から選択する。

<園内研修計画モデル案>

様式3（幼稚園 教諭用）

平成20年度10年経験者研修園内研修計画書（案）

園名	
研修者 職・氏名	

実施計画月	日数	研修内容	指導者	場所等
5月	1日	○10年経験者研修の開始に向けて ・研修の意義 ・特定課題研究のテーマ設定や研究の進め方	・主任 (主査教諭)	園内
5月	1日	○園長講話 ・これからの教育の在り方 ・研修を受ける教員に望むこと	・園長	園内
6月	1日	○園運営について		
2月	1日	○保育指導 ・研究保育 ・研究協議会 ・幼児理解	・主任 (主査教諭)	園内
2月	1日	○発表会 ・特定課題研究園内発表会 ・社会体験研修体験発表会	・園長, 主任 (主査教諭) ・全職員	園内
10年経験者研修「園内研修」計画日数 ○○日				

＜園内研修の項目例＞

研修領域	園内研修の項目例	研修領域	園内研修の項目例
基礎的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○中堅教員としての心構えとサービス ○これからの教育の在り方 ○園教育目標とその具現化 ○園内組織（園務分掌）の在り方 ○園組織の運営 ○健康安全指導の進め方 ○危機管理体制 ○道徳教育の進め方 ○公簿とその整理 ○幼稚園教育要領と教育課程 ○P T A組織とその運営 ○環境の構成 ○人権教育 ○障害のある幼児の理解 ○給食指導の進め方 	保育指導	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画 ○指導案 ○保育指導の在り方 ○個に応じた保育指導の在り方 ○教材・教具の活用 ○教育機器の活用 ○保育指導の反省と評価 ○教材研究法，教材開発 ○飼育栽培
学級経営等	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営案 ○学級経営とその評価 ○保護者との対応 ○保育室環境づくり ○成長のあしあと ○学級通信 ○健康観察の意義 	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○園内行事 ○交流教育（学校・地域） ○特色ある園づくり ○園図書室（コーナー） ○課題研究指導法 ○開かれた園
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○園内各種研究会，委員会活動 ○園の環境衛生活動の進め方 ○救急処置と救急体制 	幼児指導	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児理解 ○基本的な生活習慣の育成 ○総合的な指導 ○交通安全指導 ○教育相談活動 ○カウンセリングの事例研究 ○幼児の実態把握 ○ほめ方・しかり方 ○家庭・地域連携の在り方

様式3（幼稚園 教諭用）

平成20年度10年経験者研修園内研修計画書（案）

園名	
研修者 職・氏名	

実施計画月	日数	研修内容	指導者	場所等
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
10年経験者研修「園内研修」計画日数			日	

※園内研修 7～10日

(4) 特定課題研究について

特定課題研究は、必修とし、園内研修の中核に位置づける。そのテーマは、「評価表(案)」に記述した得意分野として伸ばすべき特に優れた指導力等を有する領域や分掌等の内容をさらに発展・充実することを目的として設定する。

園内で年度末に研究発表会を開催する。なお、この特定課題研究の成果は、総合教育センターにおける園外研修「保育専門研修Ⅱ」においても発表する（発表者は、研究領域、分野等を考慮し、総合教育センターが指定する）。「特定課題研究」計画書（案）は様式4に従い作成する。

様式4（幼稚園 教諭用）

平成20年度10年経験者研修「特定課題研究」計画書（案）

園 名	
研修者 職・氏名	

1 研究主題

--

2 研究のねらい

3 研究の対象・領域・分野

4 研究の方法

5 研究のスケジュール

6 園内「特定課題研究」発表会開催予定日

平成 年 月 日 曜日

5 終了後の報告

「10年経験者研修」終了後、速やかに次の書類を提出すること。

- ・ 特定課題研究報告書（様式5）
- ・ 社会体験研修報告書（様式6）
- ・ 異校種体験研修報告書（様式7）
- ・ 「10年経験者研修」実施報告書（様式8）

これらの様式は、愛知県総合教育センターのホームページからダウンロードできます。

(1) 特定課題研究報告書（様式5）

特定課題研究の要旨をA4判用紙、2ページ（両面印刷）にまとめ、報告する。

○提出期限 … 平成21年1月9日（金）

○提出先 … 直接 愛知県総合教育センター所長あて

※封筒の表左隅に、「10年経験者研修」特定課題研究報告書 在中」と、朱書きすること。

様式5

愛知県総合教育センター所長殿

園 名

園長名



平成20年度「10年経験者研修」特定課題研究報告書を、下記のとおり提出します。

記

受講番号		研修者 職・氏名	
------	--	----------	--

※ここから続けて、特定課題研究の要旨を記述する。

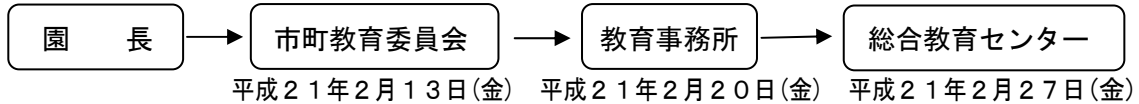
※要旨のまとめ方は、それぞれ工夫すること。

要旨の記述項目例

- 1 研究主題
- 2 主題設定の理由
- 3 研究仮説（実践の見通し）
- 4 研究計画・研究方法
- 5 研究の実際と考察（実践と検証）
- 6 研究の成果
- 7 今後の課題
- 8 参考文献等

<様式6, 7, 8の提出について>

○公立幼稚園



○私立幼稚園



※封筒の表左隅に、「10年経験者研修」実施報告書 在中」と、朱書きすること。

(2) 社会体験研修報告書(様式6)

下の様式に従い報告する。

様式6
愛知県総合教育センター所長殿

園名
園長名

平成20年度「10年経験者研修」社会体験研修報告書を、下記のとおり提出します。

記

受講番号		研修者 職・氏名	
------	--	----------	--

研修先	施設名及び団体名等		分類番号	代表者氏名
	所在地	TEL ()		
研修概要	研修日	研 修 内 容		
研修者感想				

<研修先分類番号>

①社会福祉施設		②社会教育施設		③企業				
1	老人福祉施設	7	公民館・市民・文化センター	14	株式会社			
2	児童福祉施設	8	図書館	15	有限会社			
3	母子福祉施設	9	児童館・児童センター	16	合名会社			
4	身体障害者支援施設	10	美術館	17	その他			
5	知的障害者援助施設	11	博物館・郷土館・資料館					
6	その他の福祉施設	12	科学館					
		13	その他					
④その他								
環境保護施設	18	清掃事業施設	医療保健施設	21	病院	スポーツ施設	25	スポーツセンター
	19	環境保護施設		22	保健センター			体育館
	20	その他		23	保健所			武道場
				24	その他		26	野外教育施設
						27	その他	

(3) 異校種体験研修報告書（様式7）

下の様式に従い報告する。

様式7

愛知県総合教育センター所長殿

園名

園長名



平成20年度「10年経験者研修」異校種体験研修報告書を、下記のとおり提出します。

記

受講番号		研修者 職・氏名	
------	--	----------	--

研 修 I	研修日	月 日 ()	学校名	
	日程	研 修 内 容		
研 修 II	研修日	月 日 ()	学校名	
	日程	研 修 内 容		
二校種を体験した感想				

(4) 「10年経験者研修」実施報告書（様式8）

すべての「10年経験者研修」に関する研修を、月日順に記載し、報告する。

様式8

愛知県総合教育センター所長殿

園 名

園長名



平成20年度「10年経験者研修」実施報告書を、下記のとおり提出します。

記

受講番号		研修者 職・氏名	
------	--	----------	--

「10年経験者研修」園外及び園内研修実施報告書

No. 1

実施月日	日数	研 修 内 容	指導者等	場所等
6月 6日 金曜日	1日	○共通研修 ・開講式・講義「教職員のサービスについて」 ・研究協議「10年経験者研修のテーマについて」	講師 ○○○○	総合教育 センター
6月11日 水曜日	1日	○園長講話 ・これからの教育の在り方 ・研修者に望むこと	園長 ○○○○	園 内
月 日	日			

No. 2

実施月日	日数	研 修 内 容	指導者等	場所等
	日			

【集 計 表】

愛知県総合教育センターにおける園外研修参加日数	日
愛知県総合教育センター以外における園外研修参加日数	日
園 内 研 修 実 施 日 数	日
合 計	日

6 修了証の送付

「実施報告書」受領後、審査し、総合教育センター所長名で修了証を送付する。

7 事後評価

研修終了後、園長は事後評価（様式9）を行い、今後の指導や研修に活用する。

様式9（幼稚園 教諭用）

平成20年度10年経験者研修事後評価表

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 幼児の指導に関する評価	(1) 計 画	(2) 環境の設定	(3) 保育の方法・展開		
2 学級経営その他に関する評価	(1) 学級経営	(2) 保護者への対応	(3) 地域との関係	(4) 園 務	(5) 向上心

2 園長所見

園 名

園長名



【注意】私印

※園内保管。総合教育センター等への提出は要しない。